

2026年度 通信教育実施計画

教科	国語	科目	現代の国語	単位	2単位	面接指導実施 コマ数 (6割減免後)	2コマ
学習目標	実社会に必要な国語の知識や技術を身に付け、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。						
教科書	東京書籍「新編現代の国語」(現国701)						
副教材	東京書籍「新編現代の国語」学習課題ノート						
学習方法	教科書とワークブックで学習するレポートを自宅等で学習する。また面接指導や添削指導でより理解を深める。						
評価方法	5段階評価。添削指導、試験、面接指導での評価、観点別評価の実施。						

添削課題	単元名および概要	
第1回	単元名	自己を見つめる
	概要	生きる原点としての自己への理解を深める。
第2回	単元名	他者に出会う
	概要	評論を読んで筆者の考えを読み取り、関心の幅を広げる。
第3回	単元名	視野を広げる
	概要	新鮮な着眼や発想に触れて、視野を広げる。
第4回	単元名	社会と関わる
	概要	働く人の思いを理解し、社会の中で生きる自分の将来について考える。
第5回	単元名	世界とつながる
	概要	芸術や歴史の真実に触れ、周囲に広がる世界への理解を深める。
第6回	単元名	地域のアイデンティティ
	概要	地域の伝統について考える。

面接指導計画	
単元名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルリボシカミキリの青</li> <li>・未来をつくる想像力</li> <li>・スキマが育む都市の緑と生命のつながり</li> <li>・森で染める人</li> <li>・りんごのほっぺ</li> <li>・沖縄の方言について考えをまとめる</li> </ul>
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者の少年時代の体験と自分を対比して、幼少期に夢中になったことを思い出してみる。</li> <li>・メディアとの付き合い方を深く考えてみる。</li> <li>・外来語、対義語の面白さを知る。</li> <li>・「働く」ということを考えてみる。</li> <li>・歴史を語り継ぐことの意義を考える。</li> <li>・沖縄の方言について考察することで、自分自身の地域文化に目を向け関わり方を考える。</li> </ul>

2026年度 通信教育実施計画

教科	国語	科目	言語文化	単位	2単位	面接指導実施 コマ数 (6割減免後)	2コマ
学習目標	国語を適切に表現し、的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。上代から近現代に受け継がれてきた我が国の言語文化への理解を深めることを目指す。						
教科書	東京書籍「新編言語文化」(現文701)						
副教材	東京書籍「新編言語文化」学習課題ノート						
学習方法	教科書とワークブックで学習するレポートを自宅等で学習する。また面接指導や添削指導でより理解を深める。						
評価方法	5段階評価。添削指導、試験、面接指導での評価、観点別評価の実施。						

添削課題	単元名及び概要	
第1回	単元名	随筆
	概要	随筆を読んで、筆者のものの見方や感じ方を読み取る。
第2回	単元名	詩歌
	概要	詩や短歌、俳句に親しみ、深く読み味わいを養う。
第3回	単元名	小説2
	概要	描かれている内容から主題を読み取り、小説を深く味わう。
第4回	単元名	古文入門
	概要	古文と現代文との違いを知り、古文を読む基礎となる文語のきまりを理解する。説話のおもしろさを味わい、古文の世界に親しむ。
第5回	単元名	物語
	概要	物語に描かれている内容を、叙述を基に的確に捉える。文章の展開や表現の特色に注目しながら物語を読み味わう。
第6回	単元名	俳句
	概要	表現技法(季語)について理解する。俳句から感じられる作者の思いを読み取る

面接指導計画	
単元名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さくらさくら</li> <li>・短歌</li> <li>・羅生門</li> <li>・俳句</li> <li>・児のそら寝</li> <li>・訓読の基本</li> </ul>
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者の「桜」に対する思い、日本独特の「桜」に対する思いを読み取る。</li> <li>・短歌の表現技法を学ぶとともに、季節や風情を感じる。</li> <li>・羅生門で使われる言葉の意味を学ぶ。</li> <li>・俳句における季語・季節の役割を学ぶ。</li> <li>・親しみやすい古典文学に触れ、伝統的言語文化を学ぶ。</li> <li>・漢文とは、を理解し異国と日本の言語文化の歴史に興味をもってもらおう。</li> </ul>

## 2026年度 通信教育実施計画

教科	国語	科目	論理国語	単位	4単位	面接指導実施 コマ数 (6割減免後)	2コマ
学習目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。 (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 (2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合功を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。						
教科書	東京書籍「新編論理国語」(論国701)						
副教材	東京書籍「新編論理国語」学習課題ノート						
学習方法	教科書とワークブックで学習するレポートと、メディア視聴で作成する視聴報告書を自宅等で学習する。また面接指導や添削指導でより理解を深める。						
評価方法	5段階評価。添削指導、試験、面接指導での評価、観点別評価の実施。						

添削課題	単元名および概要	
第1回	単元名	広がる風景
	概要	対話についての筆者の考えを捉え、日常のコミュニケーションの在り方を振り返ろう。 学ぶことの意味について、筆者の主張を読み取り、自分に引き寄せて考えよう。
第2回	単元名	考える手がかり
	概要	戦時下に生きた人々の日常と悲劇に思いを巡らし、時代や社会について考える態度を養う。
第3回	単元名	人間と知性
	概要	文の繋がりに着目して主張を読み取り、人間の思考や学ぶことの意味について理解を深めよう。
第4回	単元名	現実の中で
	概要	文章構成に注意して、筆者の考えを理解する。 表現に注意して評論を読み、提示された問題を的確に把握する。
第5回	単元名	ものの見方
	概要	文章に示された考え方を手掛かりに「わたし」の捉え方について理解を深める。 学問的な見地から書かれた評論を呼んで、ものの見方を広げよう。
第6回	単元名	働くよるこび
	概要	様々な観点から書かれた働く人の文章を読んで、働くことについて考えを深めよう。
第7回	単元名	時代をひらく
	概要	タイトルに象徴される筆者の考えを手がかりにして、自分の生き方について考えよう。 論理展開に注意して評論を読み、扱われている問題を的確に捉えよう。
第8回	単元名	新しい視点から
	概要	二人の語り部に共通する姿から、「語る」ということの本質について考えを深めよう。 体験に基づく文章を読み、表現に注意して筆者の考え方を捉えよう。
第9回	単元名	科学と人間
	概要	アンドロイドの研究を踏まえた評論を読んで、人間に対する筆者の考えを捉えよう。 科学や哲学の見地から書かれた評論を読んで、人間について考えを深めよう。
第10回	単元名	豊かな認識
	概要	本文中の二つの課題を体験して読み、科学的視点の持ち方とその意義を理解しよう。 評論を読んで的確に理解し、論じられている物事への認識を深めよう。
第11回	単元名	知のゆくえ
	概要	インターネットと本を比較しながら書かれた評論を読み、情報と知識について理解を深めよう。 対比に注意して評論を読み、筆者の主張を的確に捉えよう。
第12回	単元名	考えよう
	概要	論理展開に注意して読み、扱われている問題を的確に捉えよう。

面接指導計画	
単元名	1 少女たちの「ひろしま」 2 安心について 3 楽に働くこと、楽しく働くこと 4 論理とは何か(つなげる力・要約する力・質問する力)
学習到達目標	1 常用漢字を正しく読み書きできるようにする。 2 文章を読み、その構造を正しく理解できるようにする。 3 文章の要約を簡易的なものからできるようにする。

2026年度 通信教育実施計画

教科	国語	科目	文学国語	単位	4単位	面接指導実施 コマ数 (6割減免後)	2コマ
学習目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 (2) 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。						
教科書	東京書籍「文学国語」(文国701)						
副教材	東京書籍「文学国語」学習課題ノート						
学習方法	教科書とワークブックで学習するレポートと、メディア視聴で作成する視聴報告書を自宅等で学習する。また面接指導や添削指導でより理解を深める。						
評価方法	5段階評価。添削指導、試験、面接指導での評価、観点別評価の実施。						

添削課題	単元名および概要	
第1回	単元名	随筆
	概要	随筆につづられている筆者の感じ方や思いを読みとり、ものの見方を広げる。
第2回	単元名	小説1
	概要	小説に書かれた世界を味わい、そこに表された人間の在り方について考える。
第3回	単元名	小説2
	概要	小説を読み、そこに込められた寓意や書かれた人々の姿から、生きることへの考えを深める。
第4回	単元名	詩歌
	概要	詩や短歌と、短歌に関する評論を読み、詩歌の表現の特色を理解して味わう。
第5回	単元名	小説3
	概要	小説における場面展開や、人の性格・心理の描写を読み取る。
第6回	単元名	評論2
	概要	具体例や引用と筆者の主張との関係に注意して評論を読み、文学の価値や意義について考える。
第7回	単元名	随筆1
	概要	随筆を読んで筆者の経験や思いを捉え、言葉と自分との関わりについて考える。
第8回	単元名	詩歌(1)
	概要	詩や俳句と、俳句に関する評論を読み、詩歌の表現の特色を理解して味わう。
第9回	単元名	随筆2
	概要	優れた表現や叙述の仕方を理解し、感性や心情を豊かにする。
第10回	単元名	小説2
	概要	構成や時代背景に注意しながら主人公の葛藤を読み取り、人生の選択について考える。
第11回	単元名	評論
	概要	筆者の主張の展開を押さえ、小説における作者と小説内の「私」との関係について考えを深める。
第12回	単元名	詩歌(2)
	概要	詩や短歌と、短歌に関する評論を読み、詩歌の表現の特色を理解して味わう。

面接指導計画	
単元名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山月記</li> <li>・檸檬</li> <li>・小語なる古城のほとり</li> <li>・永訣の朝</li> </ul>
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文学作品を読むことで、その文体や文章の特徴、美しさを感じ取り、文学作品に親しむ。</li> <li>・文学作品を通じて、生涯にわたり読書に親しむ態度を養う。</li> <li>・文学史を学習することにより、作者の他の作品に興味を持たせる。</li> </ul>

## 2026年度 通信教育実施計画

教科	国語	科目	古典探究	単位	4単位	面接指導実施 コマ数 (6割減免後)	2コマ
学習目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。						
教科書	東京書籍「新編古典探究」(古探 701)						
副教材	東京書籍「新編古典探究」学習課題ノート						
学習方法	教科書とワークブックで学習するレポートと、メディア視聴で作成する視聴報告書を自宅等で学習する。また面接指導や添削指導でより理解を深める。						
評価方法	5段階評価。添削指導、試験、面接指導での評価、観点別評価の実施。						

添削課題	単元名および概要	
第1回	単元名	説話を楽しむ
	概要	古文の読み方を確認しよう。 説話の展開や内容のおもしろさを捉えよう。
第2回	単元名	説話を楽しむ
	概要	古文の読み方を確認しよう。 説話の展開や内容のおもしろさを捉えよう。
第3回	単元名	随筆を読む
	概要	随筆に表れている作者のものの見方、感じ方、考え方を読み取ろう。
第4回	単元名	日記を読む
	概要	作者の境遇を確かめながら、日記に書かれた出来事や作者の心情を的確に捉えよう。 日記に表れている作者のものの見方、感じ方、考え方を理解しよう。
第5回	単元名	随筆を味わう
	概要	随筆に書かれている情景や出来事を的確に捉えよう。 随筆の内容を自分と関係づけ、ものの見方、感じ方、考え方を広げよう。
第6回	単元名	歌物語を楽しむ
	概要	作品中の和歌に着目しながら、登場人物の心情や行動を捉えよう。 古典の言葉を現代の言葉と比較し、その変遷について考察しよう。
第7回	単元名	歌話。歌論を読む
	概要	内容を読みとり、その論旨を捉えよう。 歌話・歌論に述べられたものの見方、感じ方、考え方を踏まえて、考えを深めよう。
第8回	単元名	俳諧に浸む
	概要	俳句に詠み込まれた情景や心情を捉えよう。 俳論を読み、論旨を的確に捉えよう。
第9回	単元名	故事と小話
	概要	漢文の読み方を確認しよう。 様々な文章を読み、興味を持った内容を調べて理解を深めよう。
第10回	単元名	中国の知恵
	概要	古代中国のさまざまな考え方に触れ、ものの見方や感じ方、考え方を深めよう。 寓話や故事成語の意味について理解を深めよう。
第11回	単元名	小話を読む
	概要	話の展開や登場人物の想いに触れ、ない世のおもしろさを味わう。 さまざまな人物の考え方を比較し、人間の生き方について考えよう。
第12回	単元名	俳句にふれる
	概要	俳句の特色を理解して味わう。

面接指導計画	
単元名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土佐日記「馬のはなむけ」</li> <li>・枕草子「中納言参り給ひて」</li> <li>・伊勢物語「東下り」</li> <li>・源氏物語「若紫」</li> <li>・漢文・寓話「杞憂」</li> <li>・漢文・小話「鼓腹撃壤」</li> <li>・「性善説」と「性悪説」</li> </ul>
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音読を行い、古文独特のリズムに親しむ。</li> <li>・古文に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解する。</li> <li>・物語にでてくる歌を詠み理解することで登場人物の心情や背景をより理解する。</li> <li>・作品の内容を構成や展開に即して的確にとらえる。</li> <li>・漢文とは、を理解し異国と日本の言語文化の歴史に興味をもってもらう。</li> <li>・作品を読んで、当時の中国の状況を理解する。</li> <li>・人間の本性について自分の考えをまとめる。</li> </ul>

2026年度 通信教育実施計画

教科	地理歴史	科目	地理総合	単位	2単位	面接指導実施 コマ数 (6割減免後)	2コマ
学習目標	社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野(立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ、必要な情報を身に付けるようにする。 (2) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 (3) 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこ窺られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。						
教科書	東京書籍地理総合(地総701)						
学習方法	教科書で学習するレポートを自宅等で学習する。また面接指導や添削指導でより理解を深める。						
評価方法	5段階評価。添削指導、試験、面接指導での評価、観点別評価の実施。						

添削課題	単元名および概要	
第1回	単元名	地図と情報システム
	概要	私たちが暮らす世界について学ぼう。 地図やGISの役割について学ぼう。 世界の結び付きについて学ぼう。
第2回	単元名	国内や国家間の結びつきの変容と人々の生活文化と多様な地理的環境
	概要	情報や交通で繋がる世界、多様化する世界について学ぼう。 文化の地域性と多様性について学ぼう。 地形と生活文化の関係について学ぼう。
第3回	単元名	生活文化と地理的環境(1)
	概要	気候と生活文化の関係について学ぼう。
第4回	単元名	生活文化と社会的環境
	概要	資源やエネルギーの問題について学ぼう。 産業と生活文化の関係について学ぼう。 多様性や世界の生活文化について学ぼう。
第5回	単元名	地球的課題と国際協力
	概要	地球環境問題について学ぼう。 人口や食料の問題について学ぼう。 都市や民族の問題について学ぼう。
第6回	単元名	日本の生活文化と防災・減災、復旧・復興
	概要	日本の地域文化の特色について理解を深める。 さまざまな自然災害と防災について理解を深める。

面接指導計画	
単元名	第2編 国際理解と国際協力 第1章 人々の生活文化と多様な地理的環境 1節 生活文化の多様性と国際理解 4節 生活文化と産業
学習到達目標	世界の人々の生活文化について、場所の特徴や自然および社会的条件との関わりに着目して、多様性や変容の要因などを多角的・多面的に考察させる。また、現代世界でみられる地球的課題の現状に関連付けて、よりよい社会の実現に向けて主体的に解決しようとする態度を養う。



2026年度 通信教育実施計画

教科	地理歴史	科目	歴史総合	単位	2単位	前後指導要綱 との関係 (09年度改訂)
学習目標	社会的現象の歴史的過程を「考え方を働かせる」過程を通じて解決しようとする態度を涵養し、広い視野に基づき、グローバルな視点から国際社会の動向やグローバル化の進展がもたらした社会の様々な変化に心を配り、心算の配りとして自覚的行動力をもたせようとする目標とする。					
教科書	東京書籍「新選歴史総合」(歴史701)					
学習方法	教科書で学習する(1)～(3)を主として学習する。また、表現指導や表現指導での理解を深める。					
評価方法	授業評価、授業評価、試験、表現指導での評価、観点別評価の実施。					

単元	単元名	単元をよびつ観望
第1回	歴史名	アジアの歴史と現代社会の形成
	観望	1. 歴史の学びとアジアの歴史について学ぶ。 2. 歴史の学びと世界について学ぶ。 3. 歴史の学びと現代社会について学ぶ。
第2回	歴史名	世界の一体化と多様な近代化
	観望	1. アジアの近代化について学ぶ。 2. 近代化の歴史とアジアの歴史について学ぶ。 3. 近代化の歴史と世界について学ぶ。
第3回	歴史名	第二次世界大戦と戦後社会
	観望	1. 第二次世界大戦の歴史と戦後社会について学ぶ。 2. 第二次世界大戦の歴史と戦後社会について学ぶ。 3. 第二次世界大戦の歴史と戦後社会について学ぶ。
第4回	歴史名	戦後社会と現代社会
	観望	1. 戦後社会の歴史と現代社会について学ぶ。 2. 戦後社会の歴史と現代社会について学ぶ。 3. 戦後社会の歴史と現代社会について学ぶ。
第5回	歴史名	国際社会と世界経済
	観望	1. 国際社会の歴史と世界経済について学ぶ。 2. 国際社会の歴史と世界経済について学ぶ。 3. 国際社会の歴史と世界経済について学ぶ。
第6回	歴史名	世界の発展
	観望	1. 世界の歴史と世界の発展について学ぶ。 2. 世界の歴史と世界の発展について学ぶ。 3. 世界の歴史と世界の発展について学ぶ。

前後指導要綱	
歴史名	歴史総合(歴史701)
学習目標	社会的現象の歴史的過程を「考え方を働かせる」過程を通じて解決しようとする態度を涵養し、広い視野に基づき、グローバルな視点から国際社会の動向やグローバル化の進展がもたらした社会の様々な変化に心を配り、心算の配りとして自覚的行動力をもたせようとする目標とする。



2026年度 通信教育実施計画

教科	地理歴史	科目	世界史探究	単位	3単位	面接指導実施 コマ数 (6割減免後)	2コマ
学習目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野(立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 (3) 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。						
教科書	東京書籍「世界史探究」(世探701)						
学習方法	教科書で学習するレポートと、メディア視聴で作成する視聴報告書を自宅等で学習する。また面接指導や添削指導により理解を深める。						
評価方法	5段階評価。添削指導、試験、面接指導での評価、観点別評価の実施。						

添削課題	単元名および概要	
第1回	単元名	世界史へのまなざし、諸地域の歴史的特質①
	概要	お茶から見る世界史 人類の出現について 古代オリエントとユーラシア地域 東アジアと南アジアの文明 古代ギリシアとヘレニズム 地中海とアジア
第2回	単元名	諸地域の歴史的特質②
	概要	南アジアにおける国形成 東南アジア地域における国家形成 古代帝国の誕生 中国と周辺地域の交流 中国の再統一と隋唐帝国 日本や東アジアの国々による、隋唐の文化の受容 中国の分裂と多様化 トルコ系民族のユーラシア大陸への広がり
第3回	単元名	諸地域の交流と再編
	概要	イスラーム文明の特徴 西ヨーロッパの封建社会の成立過程 東ヨーロッパの民族・国家・宗教の結びつき 西ヨーロッパの農業、商業、都市 中世西ヨーロッパの文化に影響を及ぼした他文化とキリスト教 ルネサンスの社会的背景と影響 10世紀の東アジア諸国の大変動と唐宋変革 モンゴル帝国の発展の過程とアジアに及ぼした変化
第4回	単元名	諸地域の交流と再編①
	概要	ポルトガルのアジア進出の理由とその影響 明の国内重視の国家体制と活発な交易の両立 スペインのアメリカ、アジア進出とその影響 ムガル帝国の繁栄と世界の諸地域の動きとの関連
第5回	単元名	諸地域の交流と再編②、主権国家体制の形成と地球規模での交易拡大
	概要	中央アジアと西アジアの繁栄 清と東アジアについて 主権国家体制の形成と宗教改革
第6回	単元名	一体化していく世界
	概要	イギリスで産業革命がはじまった原因 北アメリカの政治変革によって獲得された権利と権利を認められなかった人々 1848年にヨーロッパ諸国でおこった出来事の原因と課題 ヨーロッパ諸国における国民意識の高まりと覇権競争の結果 南北戦争前後の時代のアメリカの社会が抱えていた課題
第7回	単元名	世界市場の形成とアジア諸国の変容
	概要	イギリスの急速な工業化が変えた世界の結びつき方 南アジアと東南アジアの各地における植民地支配の拡大 列強の覇権争いについて アジア・アフリカ諸国の統治再編について
第8回	単元名	第一次世界大戦の展開と諸地域の変容、国際協調体制の動揺と第二次世界大戦
	概要	第一次世界大戦について 大戦前後の国際秩序のあり方の変化 戦間期アメリカの大衆社会がほかの諸国に与えた影響 第一次世界大戦が、アジア各地の独立運動や民族形成に与えた影響 世界恐慌が諸地域の経済体制、政治体制に与えた影響 世界恐慌が国際協調体制に与えた打撃 第二次世界大戦のはじまりと展開 大戦後半に構想された国際秩序の再建と冷戦への展開
第9回	単元名	琉球王国の国際関係
	概要	琉球王国の国際関係について理解を深める。 琉球王国の貿易について理解を深める。

面接指導計画	
単元名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界史へのまなざし</li> <li>・古代文明の出現</li> </ul>
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひとつの歴史事象を様々な視点から見ることで見え方が変わることを実感させる。</li> <li>・現生人類が地球上に広がった過程を理解させる。</li> <li>・世界各地の古代文明がどのような条件の下で発生したのかを理解させる。</li> <li>・古代文明でうまれ今日の文明の基礎を築いている諸事象について考えさせる。</li> </ul>



2026年度 通信教育実施計画

教科	公民	科目	単元	単位	2単位	単元指導要領 と学習 指導要領 (4年次改定)	2コマ
学習目標	人間としての在り方生き方についての在り方を考えさせ、現代の諸問題を追究し、解決に向けて理想したる行動を志すこと(「職業」の概念と倫理に関する倫理に基いて自らも志す職業倫理に基いて主体的に生きること)を目的とし、職業倫理の概念及び社会の健全な形成者に必要な法としての責任(他)を次のとおり育成することを目的とする。 (1) 社会倫理の幅広い倫理的価値を認識し、現代の諸問題を捉え、より深く考察するための学問的・社会的・倫理的・法的な知識を身に付け、職業倫理の概念及び社会の健全な形成者に必要な法としての責任(他)を次のとおり育成することを目的とする。 (2) ① ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ ㏀ ㏁ ㏂ ㏃ ㏄ ㏅ ㏆ ㏇ ㏈ ㏉ ㏊ ㏋ ㏌ ㏍ ㏎ ㏏ ㏐ ㏑ ㏒ ㏓ ㏔ ㏕ ㏖ ㏗ ㏘ ㏙ ㏚ ㏛ ㏜ ㏝ ㏞ ㏟ ㏠ ㏡ ㏢ ㏣ ㏤ ㏥ ㏦ ㏧ ㏨ ㏩ ㏪ ㏫ ㏬ ㏭ ㏮ ㏯ ㏰ ㏱ ㏲ ㏳ ㏴ ㏵ ㏶ ㏷ ㏸ ㏹ ㏺ ㏻ ㏼ ㏽ ㏾ ㏿ 㐀 㐁 㐂 㐃 㐄 㐅 㐆 㐇 㐈 㐉 㐊 㐋 㐌 㐍 㐎 㐏 㐐 㐑 㐒 㐓 㐔 㐕 㐖 㐗 㐘 㐙 㐚 㐛 㐜 㐝 㐞 㐟 㐠 㐡 㐢 㐣 㐤 㐥 㐦 㐧 㐨 㐩 㐪 㐫 㐬 㐭 㐮 㐯 㐰 㐱 㐲 㐳 㐴 㐵 㐶 㐷 㐸 㐹 㐺 㐻 㐼 㐽 㐾 㐿 㑀 㑁 㑂 㑃 㑄 㑅 㑆 㑇 㑈 㑉 㑊 㑋 㑌 㑍 㑎 㑏 㑐 㑑 㑒 㑓 㑔 㑕 㑖 㑗 㑘 㑙 㑚 㑛 㑜 㑝 㑞 㑟 㑠 㑡 㑢 㑣 㑤 㑥 㑦 㑧 㑨 㑩 㑪 㑫 㑬 㑭 㑮 㑯 㑰 㑱 㑲 㑳 㑴 㑵 㑶 㑷 㑸 㑹 㑺 㑻 㑼 㑽 㑾 㑿 㒀 㒁 㒂 㒃 㒄 㒅 㒆 㒇 㒈 㒉 㒊 㒋 㒌 㒍 㒎 㒏 㒐 㒑 㒒 㒓 㒔 㒕 㒖 㒗 㒘 㒙 㒚 㒛 㒜 㒝 㒞 㒟 㒠 㒡 㒢 㒣 㒤 㒥 㒦 㒧 㒨 㒩 㒪 㒫 㒬 㒭 㒮 㒯 㒰 㒱 㒲 㒳 㒴 㒵 㒶 㒷 㒸 㒹 㒺 㒻 㒼 㒽 㒾 㒿 㓀 㓁 㓂 㓃 㓄 㓅 㓆 㓇 㓈 㓉 㓊 㓋 㓌 㓍 㓎 㓏 㓐 㓑 㓒 㓓 㓔 㓕 㓖 㓗 㓘 㓙 㓚 㓛 㓜 㓝 㓞 㓟 㓠 㓡 㓢 㓣 㓤 㓥 㓦 㓧 㓨 㓩 㓪 㓫 㓬 㓭 㓮 㓯 㓰 㓱 㓲 㓳 㓴 㓵 㓶 㓷 㓸 㓹 㓺 㓻 㓼 㓽 㓾 㓿 㔀 㔁 㔂 㔃 㔄 㔅 㔆 㔇 㔈 㔉 㔊 㔋 㔌 㔍 㔎 㔏 㔐 㔑 㔒 㔓 㔔 㔕 㔖 㔗 㔘 㔙 㔚 㔛 㔜 㔝 㔞 㔟 㔠 㔡 㔢 㔣 㔤 㔥 㔦 㔧 㔨 㔩 㔪 㔫 㔬 㔭 㔮 㔯 㔰 㔱 㔲 㔳 㔴 㔵 㔶 㔷 㔸 㔹 㔺 㔻 㔼 㔽 㔾 㔿 㕀 㕁 㕂 㕃 㕄 㕅 㕆 㕇 㕈 㕉 㕊 㕋 㕌 㕍 㕎 㕏 㕐 㕑 㕒 㕓 㕔 㕕 㕖 㕗 㕘 㕙 㕚 㕛 㕜 㕝 㕞 㕟 㕠 㕡 㕢 㕣 㕤 㕥 㕦 㕧 㕨 㕩 㕪 㕫 㕬 㕭 㕮 㕯 㕰 㕱 㕲 㕳 㕴 㕵 㕶 㕷 㕸 㕹 㕺 㕻 㕼 㕽 㕾 㕿 㖀 㖁 㖂 㖃 㖄 㖅 㖆 㖇 㖈 㖉 㖊 㖋 㖌 㖍 㖎 㖏 㖐 㖑 㖒 㖓 㖔 㖕 㖖 㖗 㖘 㖙 㖚 㖛 㖜 㖝 㖞 㖟 㖠 㖡 㖢 㖣 㖤 㖥 㖦 㖧 㖨 㖩 㖪 㖫 㖬 㖭 㖮 㖯 㖰 㖱 㖲 㖳 㖴 㖵 㖶 㖷 㖸 㖹 㖺 㖻 㖼 㖽 㖾 㖿 㗀 㗁 㗂 㗃 㗄 㗅 㗆 㗇 㗈 㗉 㗊 㗋 㗌 㗍 㗎 㗏 㗐 㗑 㗒 㗓 㗔 㗕 㗖 㗗 㗘 㗙 㗚 㗛 㗜 㗝 㗞 㗟 㗠 㗡 㗢 㗣 㗤 㗥 㗦 㗧 㗨 㗩 㗪 㗫 㗬 㗭 㗮 㗯 㗰 㗱 㗲 㗳 㗴 㗵 㗶 㗷 㗸 㗹 㗺 㗻 㗼 㗽 㗾 㗿 㘀 㘁 㘂 㘃 㘄 㘅 㘆 㘇 㘈 㘉 㘊 㘋 㘌 㘍 㘎 㘏 㘐 㘑 㘒 㘓 㘔 㘕 㘖 㘗 㘘 㘙 㘚 㘛 㘜 㘝 㘞 㘟 㘠 㘡 㘢 㘣 㘤 㘥 㘦 㘧 㘨 㘩 㘪 㘫 㘬 㘭 㘮 㘯 㘰 㘱 㘲 㘳 㘴 㘵 㘶 㘷 㘸 㘹 㘺 㘻 㘼 㘽 㘾 㘿 㙀 㙁 㙂 㙃 㙄 㙅 㙆 㙇 㙈 㙉 㙊 㙋 㙌 㙍 㙎 㙏 㙐 㙑 㙒 㙓 㙔 㙕 㙖 㙗 㙘 㙙 㙚 㙛 㙜 㙝 㙞 㙟 㙠 㙡 㙢 㙣 㙤 㙥 㙦 㙧 㙨 㙩 㙪 㙫 㙬 㙭 㙮 㙯 㙰 㙱 㙲 㙳 㙴 㙵 㙶 㙷 㙸 㙹 㙺 㙻 㙼 㙽 㙾 㙿 㚀 㚁 㚂 㚃 㚄 㚅 㚆 㚇 㚈 㚉 㚊 㚋 㚌 㚍 㚎 㚏 㚐 㚑 㚒 㚓 㚔 㚕 㚖 㚗 㚘 㚙 㚚 㚛 㚜 㚝 㚞 㚟 㚠 㚡 㚢 㚣 㚤 㚥 㚦 㚧 㚨 㚩 㚪 㚫 㚬 㚭 㚮 㚯 㚰 㚱 㚲 㚳 㚴 㚵 㚶 㚷 㚸 㚹 㚺 㚻 㚼 㚽 㚾 㚿 㞀 㞁 㞂 㞃 㞄 㞅 㞆 㞇 㞈 㞉 㞊 㞋 㞌 㞍 㞎 㞏 㞐 㞑 㞒 㞓 㞔 㞕 㞖 㞗 㞘 㞙 㞚 㞛 㞜 㞝 㞞 㞟 㞠 㞡 㞢 㞣 㞤 㞥 㞦 㞧 㞨 㞩 㞪 㞫 㞬 㞭 㞮 㞯 㞰 㞱 㞲 㞳 㞴 㞵 㞶 㞷 㞸 㞹 㞺 㞻 㞼 㞽 㞾 㞿 㟀 㟁 㟂 㟃 㟄 㟅 㟆 㟇 㟈 㟉 㟊 㟋 㟌 㟍 㟎 㟏 㟐 㟑 㟒 㟓 㟔 㟕 㟖 㟗 㟘 㟙 㟚 㟛 㟜 㟝 㟞 㟟 㟠 㟡 㟢 㟣 㟤 㟥 㟦 㟧 㟨 㟩 㟪 㟫 㟬 㟭 㟮 㟯 㟰 㟱 㟲 㟳 㟴 㟵 㟶 㟷 㟸 㟹 㟺 㟻 㟼 㟽 㟾 㟿 㠀 㠁 㠂 㠃 㠄 㠅 㠆 㠇 㠈 㠉 㠊 㠋 㠌 㠍 㠎 㠏 㠐 㠑 㠒 㠓 㠔 㠕 㠖 㠗 㠘 㠙 㠚 㠛 㠜 㠝 㠞 㠟 㠠 㠡 㠢 㠣 㠤 㠥 㠦 㠧 㠨 㠩 㠪 㠫 㠬 㠭 㠮 㠯 㠰 㠱 㠲 㠳 㠴 㠵 㠶 㠷 㠸 㠹 㠺 㠻 㠼 㠽 㠾 㠿 㡀 㡁 㡂 㡃 㡄 㡅 㡆 㡇 㡈 㡉 㡊 㡋 㡌 㡍 㡎 㡏 㡐 㡑 㡒 㡓 㡔 㡕 㡖 㡗 㡘 㡙 㡚 㡛 㡜 㡝 㡞 㡟 㡠 㡡 㡢 㡣 㡤 㡥 㡦 㡧 㡨 㡩 㡪 㡫 㡬 㡭 㡮 㡯 㡰 㡱 㡲 㡳 㡴 㡵 㡶 㡷 㡸 㡹 㡺 㡻 㡼 㡽 㡾 㡿 㢀 㢁 㢂 㢃 㢄 㢅 㢆 㢇 㢈 㢉 㢊 㢋 㢌 㢍 㢎 㢏 㢐 㢑 㢒 㢓 㢔 㢕 㢖 㢗 㢘 㢙 㢚 㢛 㢜 㢝 㢞 㢟 㢠 㢡 㢢 㢣 㢤 㢥 㢦 㢧 㢨 㢩 㢪 㢫 㢬 㢭 㢮 㢯 㢰 㢱 㢲 㢳 㢴 㢵 㢶 㢷 㢸 㢹 㢺 㢻 㢼 㢽 㢾 㢿 㣀 㣁 㣂 㣃 㣄 㣅 㣆 㣇 㣈 㣉 㣊 㣋 㣌 㣍 㣎 㣏 㣐 㣑 㣒 㣓 㣔 㣕 㣖 㣗 㣘 㣙 㣚 㣛 㣜 㣝 㣞 㣟 㣠 㣡 㣢 㣣 㣤 㣥 㣦 㣧 㣨 㣩 㣪 㣫 㣬 㣭 㣮 㣯 㣰 㣱 㣲 㣳 㣴 㣵 㣶 㣷 㣸 㣹 㣺 㣻 㣼 㣽 㣾 㣿 㤀 㤁 㤂 㤃 㤄 㤅 㤆 㤇 㤈 㤉 㤊 㤋 㤌 㤍 㤎 㤏 㤐 㤑 㤒 㤓 㤔 㤕 㤖 㤗 㤘 㤙 㤚 㤛 㤜 㤝 㤞 㤟 㤠 㤡 㤢 㤣 㤤 㤥 㤦 㤧 㤨 㤩 㤪 㤫 㤬 㤭 㤮 㤯 㤰 㤱 㤲 㤳 㤴 㤵 㤶 㤷 㤸 㤹 㤺 㤻 㤼 㤽 㤾 㤿 㥀 㥁 㥂 㥃 㥄 㥅 㥆 㥇 㥈 㥉 㥊 㥋 㥌 㥍 㥎 㥏 㥐 㥑 㥒 㥓 㥔 㥕 㥖 㥗 㥘 㥙 㥚 㥛 㥜 㥝 㥞 㥟 㥠 㥡 㥢 㥣 㥤 㥥 㥦 㥧 㥨 㥩 㥪 㥫 㥬 㥭 㥮 㥯 㥰 㥱 㥲 㥳 㥴 㥵 㥶 㥷 㥸 㥹 㥺 㥻 㥼 㥽 㥾 㥿 㦀 㦁 㦂 㦃 㦄 㦅 㦆 㦇 㦈 㦉 㦊 㦋 㦌 㦍 㦎 㦏 㦐 㦑 㦒 㦓 㦔 㦕 㦖 㦗 㦘 㦙 㦚 㦛 㦜 㦝 㦞 㦟 㦠 㦡 㦢 㦣 㦤 㦥 㦦 㦧 㦨 㦩 㦪 㦫 㦬 㦭 㦮 㦯 㦰 㦱 㦲 㦳 㦴 㦵 㦶 㦷 㦸 㦹 㦺 㦻 㦼 㦽 㦾 㦿 㧀 㧁 㧂 㧃 㧄 㧅 㧆 㧇 㧈 㧉 㧊 㧋 㧌 㧍 㧎 㧏 㧐 㧑 㧒 㧓 㧔 㧕 㧖 㧗 㧘 㧙 㧚 㧛 㧜 㧝 㧞 㧟 㧠 㧡 㧢 㧣 㧤 㧥 㧦 㧧 㧨 㧩 㧪 㧫 㧬 㧭 㧮 㧯 㧰 㧱 㧲 㧳 㧴 㧵 㧶 㧷 㧸 㧹 㧺 㧻 㧼 㧽 㧾 㧿 㨀 㨁 㨂 㨃 㨄 㨅 㨆 㨇 㨈 㨉 㨊 㨋 㨌 㨍 㨎 㨏 㨐 㨑 㨒 㨓 㨔 㨕 㨖 㨗 㨘 㨙 㨚 㨛 㨜 㨝 㨞 㨟 㨠 㨡 㨢 㨣 㨤 㨥 㨦 㨧 㨨 㨩 㨪 㨫 㨬 㨭 㨮 㨯 㨰 㨱 㨲 㨳 㨴 㨵 㨶 㨷 㨸 㨹 㨺 㨻 㨼 㨽 㨾 㨿 㩀 㩁 㩂 㩃 㩄 㩅 㩆 㩇 㩈 㩉 㩊 㩋 㩌 㩍 㩎 㩏 㩐 㩑 㩒 㩓 㩔 㩕 㩖 㩗 㩘 㩙 㩚 㩛 㩜 㩝 㩞 㩟 㩠 㩡 㩢 㩣 㩤 㩥 㩦 㩧 㩨 㩩 㩪 㩫 㩬 㩭 㩮 㩯 㩰 㩱 㩲 㩳 㩴 㩵 㩶 㩷 㩸 㩹 㩺 㩻 㩼 㩽 㩾 㩿 㪀 㪁 㪂 㪃 㪄 㪅 㪆 㪇 㪈 㪉 㪊 㪋 㪌 㪍 㪎 㪏 㪐 㪑 㪒 㪓 㪔 㪕 㪖 㪗 㪘 㪙 㪚 㪛 㪜 㪝 㪞 㪟 㪠 㪡 㪢 㪣 㪤 㪥 㪦 㪧 㪨 㪩 㪪 㪫 㪬 㪭 㪮 㪯 㪰 㪱 㪲 㪳 㪴 㪵 㪶 㪷 㪸 㪹 㪺 㪻 㪼 㪽 㪾 㪿 㫀 㫁 㫂 㫃 㫄 㫅 㫆 㫇 㫈 㫉 㫊 㫋 㫌 㫍 㫎 㫏 㫐 㫑 㫒 㫓 㫔 㫕 㫖 㫗 㫘 㫙 㫚 㫛 㫜 㫝 㫞 㫟 㫠 㫡 㫢 㫣 㫤 㫥 㫦 㫧 㫨 㫩 㫪 㫫 㫬 㫭 㫮 㫯 㫰 㫱 㫲 㫳 㫴 㫵 㫶 㫷 㫸 㫹 㫺 㫻 㫼 㫽 㫾 㫿 㬀 㬁 㬂 㬃 㬄 㬅 㬆 㬇 㬈 㬉 㬊 㬋 㬌 㬍 㬎 㬏 㬐 㬑 㬒 㬓 㬔 㬕 㬖 㬗 㬘 㬙 㬚 㬛 㬜 㬝 㬞 㬟 㬠 㬡 㬢 㬣 㬤 㬥 㬦 㬧 㬨 㬩 㬪 㬫 㬬 㬭 㬮 㬯 㬰 㬱 㬲 㬳 㬴 㬵 㬶 㬷 㬸 㬹 㬺 㬻 㬼 㬽 㬾 㬿 㭀 㭁 㭂 㭃 㭄 㭅 㭆 㭇 㭈 㭉 㭊 㭋 㭌 㭍 㭎 㭏 㭐 㭑 㭒 㭓 㭔 㭕 㭖 㭗 㭘 㭙 㭚 㭛 㭜 㭝 㭞 㭟 㭠 㭡 㭢 㭣 㭤 㭥 㭦 㭧 㭨 㭩 㭪 㭫 㭬 㭭 㭮 㭯 㭰 㭱 㭲 㭳 㭴 㭵 㭶 㭷 㭸 㭹 㭺 㭻 㭼 㭽 㭾 㭿 㮀 㮁 㮂 㮃 㮄 㮅 㮆 㮇 㮈 㮉 㮊 㮋 㮌 㮍 㮎 㮏 㮐 㮑 㮒 㮓 㮔 㮕 㮖 㮗 㮘 㮙 㮚 㮛 㮜 㮝 㮞 㮟 㮠 㮡 㮢 㮣 㮤 㮥 㮦 㮧 㮨 㮩 㮪 㮫 㮬 㮭 㮮 㮯 㮰 㮱 㮲 㮳 㮴 㮵 㮶 㮷 㮸 㮹 㮺 㮻 㮼 㮽 㮾 㮿 㯀 㯁 㯂 㯃 㯄 㯅 㯆 㯇 㯈 㯉 㯊 㯋 㯌 㯍 㯎 㯏 㯐 㯑 㯒 㯓 㯔 㯕 㯖 㯗 㯘 㯙 㯚 㯛 㯜 㯝 㯞 㯟 㯠 㯡 㯢 㯣 㯤 㯥 㯦 㯧 㯨 㯩 㯪 㯫 㯬 㯭 㯮 㯯 㯰 㯱 㯲 㯳 㯴 㯵 㯶 㯷 㯸 㯹 㯺 㯻 㯼 㯽 㯾 㯿 㰀 㰁 㰂 㰃 㰄 㰅 㰆 㰇 㰈 㰉 㰊 㰋 㰌 㰍 㰎 㰏 㰐 㰑 㰒 㰓 㰔 㰕 㰖 㰗 㰘 㰙 㰚 㰛 㰜 㰝 㰞 㰟 㰠 㰡 㰢 㰣 㰤 㰥 㰦 㰧 㰨 㰩 㰪 㰫 㰬 㰭 㰮 㰯 㰰 㰱 㰲 㰳 㰴 㰵 㰶 㰷 㰸 㰹 㰺 㰻 㰼 㰽 㰾 㰿 㱀 㱁 㱂 㱃 㱄 㱅 㱆 㱇 㱈 㱉 㱊 㱋 㱌 㱍 㱎 㱏 㱐 㱑 㱒 㱓 㱔 㱕 㱖 㱗 㱘 㱙 㱚 㱛 㱜 㱝 㱞 㱟 㱠 㱡 㱢 㱣 㱤 㱥 㱦 㱧 㱨 㱩 㱪 㱫 㱬 㱭 㱮 㱯 㱰 㱱 㱲 㱳 㱴 㱵 㱶 㱷 㱸 㱹 㱺 㱻 㱼 㱽 㱾 㱿 㲀 㲁 㲂 㲃 㲄 㲅 㲆 㲇 㲈 㲉 㲊 㲋 㲌 㲍 㲎 㲏 㲐 㲑 㲒 㲓 㲔 㲕 㲖 㲗 㲘 㲙 㲚 㲛 㲜 㲝 㲞 㲟 㲠 㲡 㲢 㲣 㲤 㲥 㲦 㲧 㲨 㲩 㲪 㲫 㲬 㲭 㲮 㲯 㲰 㲱 㲲 㲳 㲴 㲵 㲶 㲷 㲸 㲹 㲺 㲻 㲼 㲽 㲾 㲿 㳀 㳁 㳂 㳃 㳄 㳅 㳆 㳇 㳈 㳉 㳊 㳋 㳌 㳍 㳎 㳏 㳐 㳑 㳒 㳓 㳔 㳕 㳖 㳗 㳘 㳙 㳚 㳛 㳜 㳝 㳞 㳟 㳠 㳡 㳢 㳣 㳤 㳥 㳦 㳧 㳨 㳩 㳪 㳫 㳬 㳭 㳮 㳯 㳰 㳱 㳲 㳳 㳴 㳵 㳶 㳷 㳸 㳹 㳺 㳻 㳼 㳽 㳾 㳿 㴀 㴁 㴂 㴃 㴄 㴅 㴆 㴇 㴈 㴉 㴊 㴋 㴌 㴍 㴎 㴏 㴐 㴑 㴒 㴓 㴔 㴕 㴖 㴗 㴘 㴙 㴚 㴛 㴜 㴝 㴞 㴟 㴠 㴡 㴢 㴣 㴤 㴥 㴦 㴧 㴨 㴩 㴪 㴫 㴬 㴭 㴮 㴯 㴰 㴱 㴲 㴳 㴴 㴵 㴶 㴷 㴸 㴹 㴺 㴻 㴼 㴽 㴾 㴿 㵀 㵁 㵂 㵃 㵄 㵅 㵆 㵇 㵈 㵉 㵊 㵋 㵌 㵍 㵎 㵏 㵐 㵑 㵒 㵓 㵔 㵕 㵖 㵗 㵘 㵙 㵚 㵛 㵜 㵝 㵞 㵟 㵠 㵡 㵢 㵣 㵤 㵥 㵦 㵧 㵨 㵩 㵪 㵫 㵬 㵭 㵮 㵯 㵰 㵱 㵲 㵳 㵴 㵵 㵶 㵷 㵸 㵹 㵺 㵻 㵼 㵽 㵾 㵿 㶀 㶁 㶂 㶃 㶄 㶅 㶆 㶇 㶈 㶉 㶊 㶋 㶌 㶍 㶎 㶏 㶐 㶑 㶒 㶓 㶔 㶕 㶖 㶗 㶘 㶙 㶚 㶛 㶜 㶝 㶞 㶟 㶠 㶡 㶢 㶣 㶤 㶥 㶦 㶧 㶨 㶩 㶪 㶫 㶬 㶭 㶮 㶯 㶰 㶱 㶲 㶳 㶴 㶵 㶶 㶷 㶸 㶹 㶺 㶻 㶼 㶽 㶾 㶿 㷀 㷁 㷂 㷃 㷄 㷅 㷆 㷇 㷈 㷉 㷊 㷋 㷌 㷍 㷎 㷏 㷐 㷑 㷒 㷓 㷔 㷕 㷖 㷗 㷘 㷙 㷚 㷛 㷜 㷝 㷞 㷟 㷠 㷡 㷢 㷣 㷤 㷥 㷦 㷧 㷨 㷩 㷪 㷫 㷬 㷭 㷮 㷯 㷰 㷱 㷲 㷳 㷴 㷵 㷶 㷷 㷸 㷹 㷺 㷻 㷼 㷽 㷾 㷿 㸀 㸁 㸂 㸃 㸄 㸅 㸆 㸇 㸈 㸉 㸊 㸋 㸌 㸍 㸎 㸏 㸐 㸑 㸒 㸓 㸔 㸕 㸖 㸗 㸘 㸙 㸚 㸛 㸜 㸝 㸞 㸟 㸠 㸡 㸢 㸣 㸤 㸥 㸦 㸧 㸨 㸩 㸪 㸫 㸬 㸭 㸮 㸯 㸰 㸱 㸲 㸳 㸴 㸵 㸶 㸷 㸸 㸹 㸺 㸻 㸼 㸽 㸾 㸿 㹀 㹁 㹂 㹃 㹄 㹅 㹆 㹇 㹈 㹉 㹊 㹋 㹌 㹍 㹎 㹏 㹐 㹑 㹒 㹓 㹔 㹕 㹖 㹗 㹘 㹙 㹚 㹛 㹜 㹝 㹞 㹟 㹠 㹡 㹢 㹣 㹤 㹥 㹦 㹧 㹨 㹩 㹪 㹫 㹬 㹭 㹮 㹯 㹰 㹱 㹲 㹳 㹴 㹵 㹶 㹷 㹸 㹹 㹺 㹻 㹼 㹽 㹾 㹿 㺀 㺁 㺂 㺃 㺄 㺅 㺆 㺇 㺈 㺉 㺊 㺋 㺌 㺍 㺎 㺏 㺐 㺑 㺒 㺓 㺔 㺕 㺖 㺗 㺘 㺙 㺚 㺛 㺜 㺝 㺞 㺟 㺠 㺡 㺢 㺣 㺤 㺥 㺦 㺧 㺨 㺩 㺪 㺫 㺬 㺭 㺮 㺯 㺰 㺱 㺲 㺳 㺴 㺵 㺶 㺷 㺸 㺹 㺺 㺻 㺼 㺽 㺾 㺿 㻀 㻁 㻂 㻃 㻄 㻅 㻆 㻇 㻈 㻉 㻊 㻋 㻌 㻍 㻎 㻏 㻐 㻑 㻒 㻓 㻔 㻕 㻖 㻗 㻘 㻙 㻚 㻛 㻜 㻝 㻞 㻟 㻠 㻡 㻢 㻣 㻤 㻥 㻦 㻧 㻨 㻩 㻪 㻫 㻬 㻭 㻮 㻯 㻰 㻱 㻲 㻳 㻴 㻵 㻶 㻷 㻸 㻹 㻺 㻻 㻼 㻽 㻾 㻿 㼀 㼁 㼂 㼃 㼄 㼅 㼆 㼇 㼈 㼉 㼊 㼋 㼌 㼍 㼎 㼏 㼐 㼑 㼒 㼓 㼔 㼕 㼖 㼗 㼘 㼙 㼚 㼛 㼜 㼝 㼞 㼟 㼠 㼡 㼢 㼣 㼤 㼥 㼦 㼧 㼨 㼩 㼪 㼫 㼬 㼭 㼮 㼯 㼰 㼱 㼲 㼳 㼴 㼵 㼶 㼷 㼸 㼹 㼺 㼻 㼼 㼽 㼾 㼿 㽀 㽁 㽂 㽃 㽄 㽅 㽆 㽇 㽈 㽉 㽊 㽋 㽌 㽍 㽎 㽏 㽐 㽑 㽒 㽓 㽔 㽕 㽖 㽗 㽘 㽙 㽚 㽛 㽜 㽝 㽞 㽟 㽠 㽡 㽢 㽣 㽤 㽥 㽦 㽧 㽨 㽩 㽪 㽫 㽬 㽭 㽮 㽯 㽰 㽱 㽲 㽳 㽴 㽵 㽶 㽷 㽸 㽹 㽺 㽻 㽼 㽽 㽾 㽿 㿀 㿁 㿂 㿃 㿄 㿅 㿆 㿇 㿈 㿉 㿊 㿋 㿌 㿍 㿎 㿏 㿐 㿑 㿒 㿓 㿔 㿕 㿖 㿗 㿘 㿙 㿚 㿛 㿜 㿝 㿞 㿟 㿠 㿡 㿢 㿣 㿤 㿥 㿦 㿧 㿨 㿩 㿪 㿫 㿬 㿭 㿮 㿯 㿰 㿱 㿲 㿳 㿴 㿵 㿶 㿷 㿸 㿹 㿺 㿻 㿼 㿽 㿾 㿿 ̀ ́ ̂ ̃ ̄ ̅ ̆ ̇ ̈ ̉ ̊ ̋ ̌ ̍ ̎ ̏ ̐ ̑ ̒ ̓ ̔ ̕ ̖ ̗ ̘ ̙ ̚ ̛ ̜ ̝ ̞ ̟ ̠ ̡ ̢ ̣ ̤ ̥ ̦ ̧ ̨ ̩ ̪ ̫ ̬ ̭ ̮ ̯ ̰ ̱ ̲ ̳ ̴ ̵ ̶ ̷ ̸ ̹ ̺ ̻ ̼ ̽ ̾ ̿ ̀ ́ ̂ ̃ ̄ ̅ ̆ ̇ ̈ ̉ ̊ ̋ ̌ ̍ ̎ ̏ ̐ ̑ ̒ ̓ ̔ ̕ ̖ ̗ ̘ ̙ ̚ ̛ ̜ ̝ ̞ ̟ ̠ ̡ ̢ ̣ ̤ ̥ ̦ ̧						



2026年度 通信教育実施計画

教科	数学	科目	数学 I	単位	3単位	履修指導書種 2コマ (90分授業)	2コマ
学習目標	<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考えを構築する能力を育成することを目指す。</p> <p>(1) 数と量、図形と空間、二次関数及びグラフの関数についてのみ基本的な概念の理解・活用を系統的に理解することにより、事業を数学化する力、数学的に表現・説明したりする技能身に付けるようにする。</p> <p>(2) 命題の条件や結論の整理、数や式を多角的にみる目的に応じて適切に活用したりする力、図形の構成要素間の関係の整理、図形の性質や量について論理的に考察し表現する力、算数領域に習熟し、数値を的確に表現してその特徴を式、グラフを用意に表現して考察する力、社会の事象などから抽出した問題について、データの抽出・分析や変換の活用などにより、適切な手段を用いて分析を行い、問題の過程や結果に着目して考察し、問題の解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしよとする態度や創造性の基礎を養う。</p> <p>(3) 数学的な表現技能・数学的な見方・考え方を働かせ、数や式を多角的にみる目的に応じて適切に活用したりする力、図形の構成要素間の関係の整理、図形の性質や量について論理的に考察し表現する力、算数領域に習熟し、数値を的確に表現してその特徴を式、グラフを用意に表現して考察する力、社会の事象などから抽出した問題について、データの抽出・分析や変換の活用などにより、適切な手段を用いて分析を行い、問題の過程や結果に着目して考察し、問題の解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしよとする態度や創造性の基礎を養う。</p>						
教科書	<p>東京書籍「数学Ⅰ」(編) 704</p>						
学習方法	<p>教科書で学習するしべしべしと、メディア環境で作成する履修指導書を自覚等で学習する。また履修指導や履修指導により理解を深める。</p>						
評価方法	<p>授業評価、履修指導、試験、3段階指導での評価、観点別評価の実施。</p>						
履修指導							
第1回	單元名	文字と式					
	履修	文字の表す式・多項式と単項式・多項式の加法・減法・多項式の乗法・因数分解					
第2回	單元名	数値					
	履修	平均値・標準偏差の計算					
第3回	單元名	1次関数と不等式					
	履修	1次関数の性質・不等式の性質・不等式の解法・2次関数と不等式・2次関数のグラフ					
第4回	單元名	2次関数とそのグラフ					
	履修	2次関数の性質・2次関数とそのグラフ・2次関数とそのグラフのグラフの平移動					
第5回	單元名	2次関数					
	履修	2次関数の最大・最小・値・2次関数のグラフと2次関数・2次関数のグラフと2次不等式・いろいろな2次不等式					
第6回	單元名	幾何の三原則					
	履修	三原則・平行線・相似図形・合同図形・三原則の活用・三原則の相互関係					
第7回	單元名	三原則の活用					
	履修	三原則の活用・三原則の活用・三原則の活用・三原則の相互関係・幾何の三原則の活用					
第8回	單元名	データの分析					
	履修	データの分析・データの分析・データの分析・データの分析・データの分析・データの分析					
第9回	單元名	確率・三角比					
	履修	確率・三角比・確率・三角比・確率・三角比・確率・三角比					
出題指導計画							
單元名	2次方程式・2次関数と三角比						
学習到達目標	<p>2次方程式を解くことにより計算をすることができる。2次方程式の解法を用いて問題を解くことができる。</p> <p>確率・三角比の性質・数値の計算を行い、計算ができる。2次関数と三角比が事象のように生活に生かされていることを理解させる。</p>						





2026年度 通信教育実施計画

教科	種別	科目	科学と人間生活	単位	2単位	通信教育実施 科目名 (旧課程名称)	4コマ
学習目標	(1) 自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究するための必要の知識・技能などに関する基礎的に行うことができる。 (2) 観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。 (3) 自然現象を物現象と関連付けて科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。						
教科書	東京書籍「科学と人間生活(科1)9(1)」						
学習方法	教科書で学習するレポートと、マイブックスで作成する視聴覚動画を自宅等で学習する。また添削指導や添削指導による指導を受ける。						
評価方法	1) 段階評価、添削指導、記録、3段階評価での評価、観点別評価の実施。						

単元評価		単元名および概要
第1回	単元名	「生物とその利用」
	概要	身の周りの生物類について学ぶ。 生物の働きについて学ぶ。 動物のふいについて学ぶ。
第2回	単元名	「ロの資源循環」
	概要	身の周りの資源について学ぶ。 資源と生活の関わりについて学ぶ。 資源循環を推進するしくみについて学ぶ。
第3回	単元名	「健康の課題」
	概要	健康の課題について学ぶ。 食生活について学ぶ。 生活習慣病について学ぶ。 社会福祉について学ぶ。
第4回	単元名	「材料とその活用」
	概要	物質の性質について学ぶ。 プラスチックの活用について学ぶ。 異なる種類の材料について学ぶ。 身の周りの材料について学ぶ。 材料の活用について学ぶ。
第5回	単元名	「自然現象と自然現象」
	概要	身の周りの自然現象について学ぶ。 自然現象のしくみについて学ぶ。 身の周りの自然現象について学ぶ。 自然現象のしくみについて学ぶ。
第6回	単元名	「地球環境」
	概要	プラスチックの活用について理解を深める。 プラスチックの廃棄物について考えを深める。 地球環境からみるプラスチックのあり方について、多角的にものごとを思える力をつける。

3段階評価計画	
単元名	日本列島の気候とプレート 科学の歴史と科学がつくりだした世界
学習到達目標	学習の深い理解を促すことで、新しい知識や技能と時代時代の流れから、物事のでき方や働きがどのようにして発展してきたかを理解させる。これからの地球のあり方と人間の生活を、どのようにしていくかを考える機会にする。

2026年度 通信教育実施計画

教科	理科	科目	化学基礎	単位	2単位	面接指導実施 コマ数 (6割減免後)	4コマ
学習目標	(1) 日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (3) 物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。						
教科書	東京書籍「新編化学基礎」(化基702)						
学習方法	教科書で学習するレポートと、メディア視聴で作成する視聴報告書を自宅等で学習する。また面接指導や添削指導により理解を深める。						
評価方法	5段階評価。添削指導、試験、面接指導での評価、観点別評価の実施。						

添削課題	単元名および概要	
第1回	単元名	物質の成分と構成元素
	概要	物質の成分について学ぶ 物質の構成元素について学ぶ 物質の三態について学ぶ
第2回	単元名	原子の構造と元素の周期表
	概要	原子の構造について学ぶ 電子配置と周期表について学ぶ
第3回	単元名	化学結合
	概要	イオンとイオン結合について学ぶ 分子と共有結合について学ぶ 金属と金属結合について学ぶ 化学結合と物質の分類について学ぶ
第4回	単元名	物質量と化学反応式
	概要	原子量・分子量・式量について学ぶ 物質量について学ぶ 溶液の濃度について学ぶ 化学反応の表し方について学ぶ 化学反応式の表す量的関係について学ぶ
第5回	単元名	酸と塩基
	概要	酸と塩基について学ぶ 水素イオン濃度とpHについて学ぶ 中和反応と塩の生成について学ぶ 中和滴定について学ぶ
第6回	単元名	物質の変化
	概要	中和式について理解を深める。 どのような化学反応が起こるのか考える。

面接指導計画	
単元名	物質の構成、物質量と化学反応式
学習到達目標	物質の三態を分子の運動で理解する。簡単な元素記号と化学式・化学反応式の関係を理解する。1～20番目までの元素記号を覚える。化学反応式を物質量(モル)で理解する。

2026年度 通信教育実施計画

教科	理科	科目	生物基礎	単位	2単位	面接指導実施 コマ数 (6割減免後)	4コマ
学習目標	(1) 日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (3) 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。						
教科書	東京書籍「新編生物基礎」(生基702)						
学習方法	教科書で学習するレポートと、メディア視聴で作成する視聴報告書を自宅等で学習する。また面接指導や添削指導により理解を深める。						
評価方法	5段階評価。添削指導、試験、面接指導での評価、観点別評価の実施。						

添削課題	単元名および概要	
第1回	単元名	生物の特徴
	概要	細胞の特徴について学ぶ 生体とATPについて学ぶ 酵素のはたらきについて学ぶ 呼吸と光合成について学ぶ
第2回	単元名	遺伝子とそのはたらき
	概要	生物と遺伝子について学ぶ DNAの構造について学ぶ DNAの複製と分配について学ぶ タンパク質について学ぶ タンパク質と遺伝情報について学ぶ 細胞の分化と遺伝子について学ぶ
第3回	単元名	ヒトの体を調節するしくみ
	概要	体内環境について学ぶ 神経系による情報伝達について学ぶ 内分泌系による情報伝達について学ぶ 血糖濃度の調節について学ぶ
第4回	単元名	ヒトの体の調節
	概要	免疫のしくみについて学ぶ 免疫の応用について学ぶ 免疫とさまざまな疾患について学ぶ
第5回	単元名	植生と遷移
	概要	身のまわりの植生について学ぶ 植生の遷移について学ぶ 遷移とバイオームについて学ぶ
第6回	単元名	生物の多様性と生態系
	概要	生態系における種多様性について理解する。 生態系のバランス、生態系の保全の重要性について知る。 生態系における生物間の関係について理解を深める。

面接指導計画	
単元名	生物の多様性と共通性
学習到達目標	メンデルの遺伝の法則から説明し、人の遺伝がどのようにはたらくているのかを理解させ、次回のDNAの説明に繋げる。沖縄の生物を紹介して、絶滅危惧種などを伝える。

2026年度 通信教育実施計画

教科	理科	科目	地学基礎	単位	2単位	面接指導実施 コマ数 (6割減免後)	4コマ
学習目標	(1) 日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (3) 地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と自然環境の保全に寄与する態度を養う。						
教科書	東京書籍「地学基礎」(地基701)						
学習方法	教科書で学習するレポートと、メディア視聴で作成する視聴報告書を自宅等で学習する。また面接指導や添削指導により理解を深める。						
評価方法	5段階評価。添削指導、試験、面接指導での評価、観点別評価の実施。						

添削課題	単元名および概要	
第1回	単元名	私たちの大地
	概要	地球の形と大きさ 地球の構造 地球内部の動きとプレート 大地形の形成と地質構造 地震の発生 日本列島付近で起こる地震
第2回	単元名	私たちの空と海
	概要	地球大気の大気構造 地球の大気で起こる現象 放射と地球全体の熱収支 大気や海水の運動の原因 大気の大循環 海洋の構造 海洋の表層循環 海水とその運動
第3回	単元名	私たちの宇宙の誕生
	概要	宇宙の誕生と進化 天の川銀河 太陽の誕生 太陽系の誕生 太陽系の構成 太陽の特徴 地球の特徴 小惑星探査機
第4回	単元名	私たちの地球の歴史
	概要	地層の形成 地層からわかる情報 先カンブリア時代 古生代 中生代 新生代
第5回	単元名	地球に生きる私たち
	概要	日本の自然環境の特徴 日本の自然の恵み 自然科学の観点からの防災 地球環境の考え方 自然環境の変化 人間活動による自然環境の変化 世界の取り組み 代替エネルギー
第6回	単元名	地球温暖化
	概要	地球温暖化について理解を深める。 地球温暖化対策について考える。 地球温暖化が人々の暮らしに与える影響について考える。

面接指導計画
--------

<p>単元名</p>	<p>【1編 私たちの大地】  第1章 大地とその動き  第1節 地球の形と大きさ  第2節 地球の内部構造  第3節 地球内部の動きとプレート  第2章 地震  第1節 地震の発生  第2節 日本列島付近で起こる地震  第3章 火山活動  第1節 火山噴火の多様性  第3節 火山の分布とマグマの発生  【日本の転記と気象災害】  第4章 日本の転記と気象災害  第2節 季節の特徴と気象災害</p>
<p>学習到達目標</p>	<p>地球の内部構造や成り立ちについて学ぶことで、地球上で発生するさまざまな自然現象の仕組みに対する理解を深め、日常生活に活用できる知識を習得する。また、学校所在地である沖縄県において最も発生頻度の高い自然災害である台風について、その発生メカニズムを理解することにより、沖縄県の自然環境への興味・関心を高めるとともに、災害の予測や防災意識の向上を図り、日頃から災害への備えについて主体的に考える態度を養う。</p>

2026年度 通信教育実施計画

教科	保健体育	科目	体育α	単位	3単位	面接指導実施 コマ数 (6割減免後)	6コマ
学習目標	体育の見方・考え方を働かせ、多様な運動の基礎を経験し、自己の適性や課題を発見する学習過程を通して、心と体を一体として捉え、豊かなスポーツライフを継続するための基礎的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 各種の運動の特性に応じた基本的な技能及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。 (2) 自己の運動における自己の課題を発見し、その解決のための基本的な手順を思考・判断し、他者と情報を共有する力を養う。 (3) スポーツの多様な関わり方を通して、豊かな生活を創造しようとする態度、健康・体力を維持増進する態度を養う。						
教科書	大修館書店「現代高等保健体育 改訂版」(保体 050-901)						
学習方法	教科書で学習するレポートと、メディア視聴で作成する視聴報告書を自宅等で学習する。また面接指導や添削指導により理解を深める。						
評価方法	5段階評価。添削指導、試験、面接指導での評価、観点別評価の実施。						

添削課題	単元名および概要	
第1回	単元名	スポーツの発祥と発展
	概要	スポーツの始まりと発展 近代スポーツから国際スポーツへ 文化としてのスポーツ
第2回	単元名	スポーツの発祥と発展(2)
	概要	オリンピックとパラリンピックの意義 スポーツと経済 スポーツ産業の拡大
第3回	単元名	スポーツの高潔さとドーピング
	概要	スポーツの高潔さについて考える。 ドーピングの影響について理解を深める。 スポーツと環境について理解を深める。

面接指導計画	
単元名	体育編 3単元 生涯スポーツの見方・考え方
学習到達目標	平均寿命が約80年を超える超高齢社会となり豊かな生活の質を積極的に求めていくレジャー社会を生きていく上で必要な身体的側面、精神的側面、社会的側面の変化の特徴に応じて楽しめる生涯スポーツを実践する。

2026年度 通信教育実施計画

教科	保健体育	科目	体育β	単位	2単位	面接指導実施 コマ数 (6割減免後)	4コマ
学習目標	体育の見方・考え方を働かせ、自他やチームの課題を分析し、合理的・計画的に解決する学習過程を通して、心と体を一体として捉え、自己の状況に応じて体力が向上するよう、発展的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 運動の特性に応じた一連の技能を安定して発揮できるようにするとともに、社会生活における健康・安全の重要性を具体的に理解する。 (2) 自他の運動や健康に関する複雑な課題に対して、解決策を比較検討し、状況に応じた適切な判断を下すとともに、具体的に伝える力を養う。 (3) 運動に親しむ意欲を持ち、集団の中での役割を果たすなど、主体的に学習に取り組む態度を養う。						
教科書	大修館書店「現代高等保健体育 改訂版」(保体 050-901)						
学習方法	教科書で学習するレポートと、メディア視聴で作成する視聴報告書を自宅等で学習する。また面接指導や添削指導により理解を深める。						
評価方法	5段階評価。添削指導、試験、面接指導での評価、観点別評価の実施。						

添削課題	単元名および概要	
第1回	単元名	運動、スポーツの学び方
	概要	運動、スポーツにおける技能と体力の関係 スポーツにおける技術と戦術
第2回	単元名	技能の上達過程と練習、体カトレーニング
	概要	技能の定着について考える。 スランプについて理解を深める。 トレーニングについて理解を深める。

面接指導計画	
単元名	体育編 3単元 生涯スポーツの見方・考え方
学習到達目標	平均寿命が約80年を超える超高齢社会となり豊かな生活の質を積極的に求めていくレジャー社会を生きていく上で必要な身体的側面、精神的側面、社会的側面の変化の特徴に応じて楽しめる生涯スポーツを実践する。

2026年度 通信教育実施計画

教科	保健体育	科目	体育γ	単位	2単位	面接指導実施 コマ数 (6割減免後)	4コマ
学習目標	体育の見方・考え方を働かせ、自己に最適なスポーツの実践方法を確立する学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続し、明るく活力ある生活を営むための社会参画を見据えた資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 生涯にわたって、親しむことができる特定の技能を洗練させ、健康・安全を自己管理するための高度な知識と技能を身に付ける。 (2) 社会におけるスポーツの役割や健康課題を広い視野で捉え、持続可能な解決方法を主体的に思考・判断し、他者と合意形成を図る力を養う。 (3) 生涯にわたって、継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。						
教科書	大修館書店「現代高等保健体育 改訂版」(保体 050-901)						
学習方法	教科書で学習するレポートと、メディア視聴で作成する視聴報告書を自宅等で学習する。また面接指導や添削指導でより理解を深める。						
評価方法	5段階評価。添削指導、試験、面接指導での評価、観点別評価の実施。						

添削課題	単元名および概要	
第1回	単元名	生涯スポーツの見方・考え方、ライフスタイルに応じたスポーツ
	概要	社会の変化とスポーツの役割 ライフステージに対応したスポーツの楽しみ方 いろいろなスポーツライフスタイル
第2回	単元名	スポーツを推進する取り組み、豊かなスポーツライフの創造
	概要	日本と諸外国の取り組みの違いを理解する。 日本のスポーツ推進の取り組みについて理解を深める。 スポーツ推進について考える。 スポーツライフの創造を通じて豊かな発想力を養う。

面接指導計画	
単元名	体育編 3単元 生涯スポーツの見方・考え方
学習到達目標	平均寿命が約80年を超える超高齢社会となり豊かな生活の質を積極的に求めていくレジャー社会を生きていく上で必要な身体的側面、精神的側面、社会的側面の変化の特徴に応じて楽しめる生涯スポーツを実践する。

2026年度 通信教育実施計画

教科	保健体育	科目	保健	単位	2単位	面接指導実施 コマ数 (6割減免後)	2コマ
学習目標	保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。 (1) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。 (2) 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 (3) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。						
教科書	大修館書店「現代高等保健体育 改訂版」(保体 050-901)						
学習方法	教科書で学習するレポートを自宅等で学習する。また面接指導や添削指導でより理解を深める。						
評価方法	5段階評価。添削指導、試験、面接指導での評価、観点別評価の実施。						

添削課題	単元名および概要	
第1回	単元名	現代社会と健康(1)
	概要	体の中をのぞいてみる / 人々の健康を支える社会的取り組み / 健康増進に貢献する活動 / 健康の考え方と成り立ち/私たちの健康のすがた/生活習慣病の予防と回復/がんの原因と予防/がんの治療と回復/運動と健康/食事と健康/休養・睡眠と健康
第2回	単元名	現代社会と健康(2)
	概要	飲酒と健康 / 薬物乱用と健康/精神疾患の特徴/精神疾患の予防/精神疾患からの回復/現代の感染症/感染症の予防/性感染症・エイズとその予防
第3回	単元名	安全な社会生活
	概要	交通における安全/応急手当の意義とその基本/日常的な応急手当/心肺蘇生法
第4回	単元名	生涯を通じる健康(1)
	概要	性意識と性行動の選択/妊娠・出産と健康/避妊法と人工妊娠中絶 / 結婚生活と健康/中高年期と健康
第5回	単元名	生涯を通じる健康(2)、健康を支える環境づくり
	概要	働くことと健康/労働災害と健康/健康的な職業生活 / 大気汚染と健康/水質汚濁、土壌汚染と健康/環境と健康にかかわる対策
第6回	単元名	現代社会と健康、安全な社会生活
	概要	生活習慣病の予防と回復 / 安全な社会の形成

面接指導計画	
単元名	「健康のとらえ方(考え方と成り立ち)」「飲酒と健康」「現代の感染症」「心肺蘇生法」「性意識と性行動の選択」「医薬品と健康」「水質汚濁」
学習到達目標	○心身ともに健康であるために必要なことを学習する。 ○日常生活において、薬、水、お酒、煙草、また、性についてまで、漠然とした知識での対応が、習慣化していると考えられる。正しい知識を学び、身につけるための学習をする。 ○心身共に「健康」であるために、必要なことを自身の生活習慣を振り返りながら学習する。

2026年度 通信教育実施計画

教科	芸術	科目	書道 I	単位	2単位	面接指導実施 コマ数 (6割減免後)	4コマ
学習目標	書写は国語、正しく整えて書く力をつける。 書道は芸術、作者の表現物であり鑑賞の対象となることを伝え、2回の授業で自己表現にまでチャレンジすることをイメージさせる。 書き慣れた平仮名ではなく、手本をよく見て、字形を取る。 古典とは違う、多様な書の表現を味わう。						
教科書	東京書籍 書道 I (東書002-901)						
学習方法	教科書で学習するレポートと、メディア視聴で作成する視聴報告書を自宅等で学習する。また面接指導や添削指導により理解を深める。						
評価方法	5段階評価。添削指導、試験、面接指導での評価、観点別評価の実施。						

添削課題	単元名および概要	
第1回	単元名	書写から書道へ
	概要	書写について 用具・用材 姿勢・執筆法
第2回	単元名	漢字の書(1)
	概要	漢字の成立と変遷 楷書の特徴
第3回	単元名	漢字の書(2)
	概要	行書の特徴 行書の作品
第4回	単元名	漢字の書(3)
	概要	草書について 隷書の成立 篆書について
第5回	単元名	仮名の書
	概要	仮名について 仮名の作品
第6回	単元名	漢字仮名交じりの書の創作活動
	概要	歌詞を用いて、メロディーや風景を想像する。 自分で想像したものを使って、表現を工夫しながら草稿を仕上げる。

面接指導計画	
単元名	ホップ、ステップ、ジャンプで書による自己表現にチャレンジ!
学習目標	書き重ねることで筆に慣れ、字が変化していくことを体感する 好きなことばを自由に書くことで、自分の書に愛着、自信がもてるようになる

2026年度 通信教育実施計画

教科	芸術	科目	美術 I	単位	2単位	面接指導実施 コマ数 (6割減免後)	4コマ
学習目標	美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。 (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 (3) 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。						
教科書	日本文教出版「高校美術」(美 I 703)						
学習方法	教科書で学習するレポートと、メディア視聴で作成する視聴報告書を自宅等で学習する。また面接指導や添削指導により理解を深める。						
評価方法	5段階評価。添削指導、試験、面接指導での評価、観点別評価の実施。						

添削課題	単元名および概要	
第1回	単元名	絵画
	概要	線や面で捉えて描こう
第2回	単元名	絵画 表現・鑑賞
	概要	配置と構図で語る
第3回	単元名	絵画 表現・鑑賞
	概要	身近な風景を描く
第4回	単元名	絵画 表現・鑑賞
	概要	内面を見つめて
第5回	単元名	色彩・美術史
	概要	色彩の仕組み / 西洋の美術史
第6回	単元名	デザイン
	概要	ポスターデザイン

面接指導計画	
単元名	沖縄の造形に取り組み「これでいい」を体感する

2026年度 通信教育実施計画

教科	外国語	科目	英語コミュニケーション I	単位	3単位	面接指導実施 コマ数 (6割減免後)	5コマ
学習目標	(1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の動きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。 (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。 (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。						
教科書	東京書籍「All Aboard!English Communication I」(英コミ I) 901						
副教材	東京書籍「All Aboard!English Communication I WORKBOOK						
学習方法	教科書とワークブックで学習するレポートと、メディア視聴で作成する視聴報告書を自宅等で学習する。また面接指導や添削指導でより理解を深める。						
評価方法	5段階評価。添削指導、試験、面接指導での評価、観点別評価の実施。						

添削課題	単元名および概要	
第1回	単元名	Warm-Up/[Pre-Lesson 1]My name is Ito Neko/[Pre-Lesson 2]I Like Junk Food! / 英文のしくみ / 【Lesson 1】Breakfast around the World / 【Lesson 2】Australia's Cute Quokkas / 文法のまとめ1
	概要	be動詞 / 一般動詞/過去形 / 進行形 / 否定文と疑問文 / 主語+動詞、主語+動詞+補語、主語+動詞+目的語 ・英語で自己紹介をする。 ・世界の朝食について知り、理解することができる。 ・好きな食べ物について、英語で説明することができる。 ・オーストラリアの生き物であるクオッカと彼らの安全をためのルールを理解する。 ・好きな動物について、英語で説明することができる。
第2回	単元名	【Lesson3】Life with Spade/Communication2 / Let's Listen1
	概要	助動詞 / 道案内 / 友達との約束 ・流鏝馬を通して愛馬、スベードとの絆を深める布施さんのインタビューを聞き絆を感じる瞬間について考える ・出かける場所の予定について、英語で説明することができる。
第3回	単元名	【Lesson 4】A Miracle Mirror / 英文Eメールの書き方 / Extra Target1
	概要	to 不定詞 / 英文Eメール / 人物当てクイズ ・ユニ塩湖を訪れた感想のメールを読み魅力を知る。 ・訪れてみたい場所について、英語で説明することができる。
第4回	単元名	【Lesson 5】A Dream Engine / Let's Listen2 / 英文のしくみ2 / 文法のまとめ2 / 【Reading1】Short Stories in English / Extra Target2
	概要	動名詞 / 車内アナウンス / 主語+動詞+目的語+目的語 / 助動詞 / to 不定詞 / 接続詞 / ○○が…するのを見た ・高校のユニークな取り組みを通して、挑戦することの大切さを知る。 ・将来の夢について、英語で説明することができる。 ・英語の短い話を読んで、意味・面白さを理解する。
第5回	単元名	【Lesson 6】A Funny Picture from the Edo Period/[Lesson 7]A Diary of Hope
	概要	受け身 / 比較表現 ・江戸時代に歌川国芳が描いた作品のスピーチを聞き、現代の日本の漫画文化の関連性について考える。 ・自分の好きな絵について、英語で説明することができる。 ・アンネ・フランクについてのプレゼンテーションを聞き、彼女の人生、生きることについて考える。 ・自分に影響を与えた人物について、英語で説明することができる。
第6回	単元名	【Lesson 7】A Diary of Hope
	概要	比較表現 ・アンネ・フランクについてのプレゼンテーションを聞き、彼女の人生、生きることについて考える。 ・自分に影響を与えた人物について、英語で説明することができる。
第7回	単元名	【Lesson 8】A Door to a New Life / Communication3 / 英文のしくみ3 / 文法のまとめ3
	概要	名詞を後ろから説明する分詞 / フリーマーケットで買い物 / 主語+動詞+目的語+補語 / 受け身 / 比較表現完了形 ・ロボットカフェからの中継を聞き、ロボットができることを理解し、これからの活躍について考える。 ・ロボットの活用について自分の意見を、英語で述べるすることができる。
第8回	単元名	【Lesson 9】Ghost in the Oceans
	概要	関係代名詞 ・ゴーストギアについて知り、環境汚染について何ができるか考える。 ・地域の環境問題に対する取り組みを、英語で説明することができる。
第9回	単元名	思い出に残っている経験を英語で書こう
	概要	過去形 ・過去形を使って思い出に残っている経験を書くことができる。

面接指導計画	
単元名	比較級・最上級 A Diary of Hope 動詞の過去形
学習到達目標	今後更に広がるであろう、日本の国際化にむけて、多言語(英語)を学ぶことへの苦手意識をなくし、授業に積極的に取り組むことができる。

2026年度 通信教育実施計画

教科	外国語	科目	英語コミュニケーションⅡ	単位	4単位	面接指導実施 コマ数 (6割減免後)	7コマ
学習目標	(1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の動きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。 (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。 (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。						
教科書	東京書籍「All Aboard! English Communication Ⅱ」(英コミⅡ)701						
副教材	東京書籍「All Aboard! English Communication Ⅱ」WORKBOOK						
学習方法	教科書とワークブックで学習するレポートと、メディア視聴で作成する視聴報告書を自宅等で学習する。また面接指導や添削指導でより理解を深める。						
評価方法	5段階評価。添削指導、試験、面接指導での評価、観点別評価の実施。						

添削課題	単元名および概要	
第1回	単元名	【Pre-Lesson】My Plans for This Year/【Lesson 1】A Colorful Island
	概要	関係代名詞(What) ・今年やってみようことについて、英語で説明することができる。 ・フラーノ島に行ったSNSの報告を読み、現地の魅力を知る。 ・海外で行ってみたい場所について、英語で説明することができる。
第2回	単元名	【Lesson 2】With the Beatles
	概要	比較表現 ・サムとDJの会話聞きビートルズについて知り、音楽の持つ魅力を感じる。 ・世代を超えて人気のある人物について、英語で説明することができる。
第3回	単元名	【Lesson 3】Wild Men / 文法のまとめ1
	概要	Itの用法 / 関係代名詞(what) / 比較表現 ・世界の衣装について知り、なぜそれを着用するのかを理解する。 ・身近な行事について、英語で説明することができる。
第4回	単元名	【Lesson 4】Little Hero
	概要	関係疑問文 ・ハチドリについての紹介、民話を読み諦めないことの大切さを学ぶ。 ・自分の好きな物語について、英語で紹介することができる。
第5回	単元名	【Lesson 5】Special Makeup in Kabuki
	概要	to不定詞を含む表現 ・日本の伝統文化である歌舞伎について理解する。 ・日本の伝統文化について、英語で説明することができる。
第6回	単元名	【Reading 1】Mujina / 文法のまとめ2 / 【Lesson 6】Seeds for Future Generations
	概要	動詞の目的語になるif節 / 関係疑問文 / to不定詞を含む表現 / 動詞の形と「時」の関係 ・物語の登場人物の感情を考え読むことができる。 ・伝統野菜を未来に引き継ぐための活動を理解する。 ・地元で有名な場所やものについて、英語で説明することができる。
第7回	単元名	【Lesson 7】Over the Wall
	概要	関係副詞: where, when ・Over the Wallに関しての文章を読み、自分が挑戦したいことについて考える。 ・世界の人々と交流する方法について考え、英語で説明することができる。
第8回	単元名	【Lesson 8】Inspiration from Nature / 文法のまとめ3
	概要	知覚動詞 / 動詞の目的語になるif節 / 関係副詞: where, when ・自然界のデザインをヒントにして作られた製品について知る。 ・自然界のデザインをヒントにして作られた製品について調べ、英語で説明することができる。
第9回	単元名	【Lesson 9】The Bitter Truth behind Chocolate
	概要	使役動詞 ・チョコレートをめぐる社会問題について知る。 ・チョコレートをめぐる社会問題について自分の意見を、英語で述べるすることができる。
第10回	単元名	【Lesson 10】Fighting Angel
	概要	分詞構文 ・ナイチンゲールについての話を読み人を助けることの大切さを知る。 ・人を助ける職業について調べ、英語で発表することができる。
第11回	単元名	【Reading 2】Bear's Pie / Word Box5 / Tool Box Plus
	概要	・物語の結末を想像しながら英語でお話を読む ・日常生活や会話で活用できる単語を知る。
第12回	単元名	ピクトグラムについて説明しよう
	概要	・日常で見かけるピクトグラムについて、英語で説明することができる。

面接指導計画	
単元名	Lesson2 With the Beatles <ビートルズと共に> Lesson4 Little hero <ハチドリのしずく> Extra Target 1 ずっと…し続けています Extra Target 2 ○○ならいいのに… テスト対策
学習到達目標	a. 文法及び必要単語の過去形をしっかりと理解する。 b. 日本語をよみ表現を正しく使い分けられる。 a. 本文の内容を理解し、要約することができる。 b. 比較表現を正しく使い分けられる a. 本文の内容を理解し、要約することができる。 b. 間接疑問文を使った表現を正しく使い分けられる。 a. テストに出題される問題の傾向を知る。 b. 学習してきた単元の単語について復習し、用いた文を作成。 c. 目的を述べる会話文のニュアンスを理解する。

2026年度 通信教育実施計画

教科	外国語	科目	論理・表現 I	単位	2単位	面接指導実施 コマ数 (6割減免後)	4コマ
学習目標	(1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。 (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。 (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。						
教科書	東京書籍「NEW FAVORITE English Logic and Expression I」(論 I 901)						
副教材	東京書籍「NEW FAVORITE English Logic and Expression I」 WORKBOOK						
学習方法	教科書とワークブックで学習するレポートと、メディア視聴で作成する視聴報告書を自宅等で学習する。また面接指導や添削指導でより理解を深める。						
評価方法	5段階評価。添削指導、試験、面接指導での評価、観点別評価の実施。						

添削課題	単元名および概要	
第1回	単元名	【Unit 1 Lesson 1】初めての食事 / 【Lesson 2】道に迷う / 【Lesson 3】人物紹介
	概要	褒めることができる、勧めることができる、断ることができる 提案することができる、依頼することができる、道順を説明することができる 身近な人を紹介することができる、注意を引くことができる
第2回	単元名	【Unit 1 Lesson 4】体調が悪い / 【Lesson 5】買い物 / 【Lesson 6】行ってみたい場所
	概要	体調を伝えることができる、体調を尋ねることができる、指示・アドバイスをすることができる 描写することができる、相づちを打つことができる 希望を述べることができる、理由を述べる
第3回	単元名	【Unit 1 Lesson 7】イベントに誘われる / 【Lesson 8】スクールカウンセラーに相談 / 【Lesson 9】お気に入りを紹介
	概要	誘うことができる、誘いを受けることができる、誘いを断ることができる 状況を説明することができる、手助けを申し出ることができる、助言・提案をすることができる、お礼や感謝を伝えることができる 映画や本のあらすじを要約したり、登場人物などを紹介したりすることができる、感想や批評を述べる
第4回	単元名	【Unit 1 Lesson 10】待ち合わせに遅刻 / 【Lesson 11】家庭でのディスカッション / 【Lesson 12】英字新聞に投稿
	概要	相手に謝ることができる、相手を許すことができる、相手を励ますことができる 共感を述べることができる、残念な気持ちを述べる、解決策を提案することができる 要望や主張を述べる、理由を述べる
第5回	単元名	【Unit 2 Lesson 1】クラスでディベート① / 【Lesson 2】クラスでディベート② / 【Lesson 3】経験談のスピーチ / 【Lesson 4】遊びやスポーツを紹介
	概要	理由を述べる、例を挙げる 相手の意見に反駁することができる、相手の意見を引用することができる できごとを生き生きと描写することができる、経験からアドバイスをする ルールや手順を順序立てて説明することができる、聞き手の知識に合わせて説明することができる
第6回	単元名	イラストの人物について説明しよう
	概要	現在進行形を使ってイラストの人物が行っていることについて説明することができる 日本語と英語の表現の違いについて考えることができる

面接指導計画	
単元名	Lesson10 待ち合わせ場所に遅刻
学習到達目標	今後更に広がるであろう、日本の国際化にむけて、多言語(英語)を学ぶことへの苦手意識をなくし、授業に積極的に取り組むことができる。

2026年度 通信教育実施計画

教科	家庭	科目	家庭総合	単位	4単位	面接指導実施 コマ数 (6割減免後)	4コマ
学習目標	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けるようにする。 (2) 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど生涯を見通して課題を解決する力を養う。 (3) 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。						
教科書	東京書籍 家庭総合 自立・共生・創造(家総002-901)						
学習方法	教科書で学習するレポートと、メディア視聴で作成する視聴報告書を自宅等で学習する。また面接指導や添削指導でより理解を深める。						
評価方法	5段階評価。添削指導、試験、面接指導での評価、観点別評価の実施。						

添削課題	単元名および概要	
第1回	単元名	生涯を見通す
	概要	発達段階について学ぶ 生涯発達のライフステージについて学ぶ 青年期の課題について学ぶ 目標をもって生きるについて学ぶ
第2回	単元名	人生をつくる
	概要	人生をつくるについて学ぶ 家族・家庭を見つめる これからの家庭生活と社会
第3回	単元名	子どもと共に育つ
	概要	命を育むについて学ぶ 子どもの育つ力について学ぶ 子どもと関わるについて学ぶ 子どもとの触れ合いから学ぶについて学ぶ これからの保育環境について学ぶ
第4回	単元名	超高齢社会を共に生きる、共に生き、共に支える
	概要	超高齢・大衆長寿社会を迎えてについて学ぶ 高齢期の心身の特徴について学ぶ これからの超高齢社会について学ぶ 私たちの生活と福祉 社会保障の考え方について学ぶ。 共に生きるについて学ぶ
第5回	単元名	食生活をつくる
	概要	食生活の課題について考える 食事と栄養・食品について学ぶ 食品の選択と安全について学ぶ 調理の基礎について学ぶ 食生活の文化と知恵について学ぶ これからの食生活について学ぶ
第6回	単元名	衣生活をつくる
	概要	被服の役割を考える 被覆を入手する 被覆を管理する 衣生活の文化と知恵について学ぶ これからの衣生活
第7回	単元名	経済生活を営む
	概要	情報の収集・比較と意思決定 購入・支払いのルールと方法 消費者の権利と責任 傷害の経済生活を見通す 家計をマネジメントする これからの経済生活
第8回	単元名	食生活をつくる
	概要	食品自給率について理解を深める 食品ロスについて考える

面接指導計画	
単元名	
学習到達目標	

2026年度 通信教育実施計画

教科	情報	科目	情報 I	単位	2単位	面接指導実施 コマ数 (6割減免後)	2コマ
学習目標	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人の関わりについて理解を深めるようにする。 (2) 様々な事象を情報とそ の結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。 (3) 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。						
教科書	東京書籍「新編情報 I」(情 I 901)						
学習方法	教科書で学習するレポートと、メディア視聴で作成する視聴報告書を自宅等で学習する。また面接指導や添削指導により理解を深める。						
評価方法	5段階評価。添削指導、試験、面接指導での評価、観点別評価の実施。						

添削課題	単元名および概要	
第1回	単元名	情報で問題を解決する(1)
	概要	情報とメディアの特性 問題解決の流れ
第2回	単元名	情報を伝える(2)
	概要	発想法 情報モラル 個人情報の流出 傷つかない傷つけないために 知的財産権
第3回	単元名	データを活用する
	概要	インターネット上のサービス 情報セキュリティ
第4回	単元名	情報で問題を解決する / 情報を伝える
	概要	ユニバーサルデザイン 傷つかない傷つけないために

面接指導計画	
単元名	「情報とメディア」、「インターネットの仕組み」、「ユニバーサルデザイン」、「情報モラル」「個人情報の保護」
単元目標	①「情報とは何か」 ②「インターネットの仕組み」 ③「情報デザイン」 ④「情報モラル」上記4つのテーマを理解し、日常生活においてよりよいコンピュータの利用方法や情報を伝える手段を身につける。

2026年度 通信教育実施計画

教科	産業社会と人間	科目	キャリアガイダンス	単位	1単位	面接指導実施 コマ数 (6割減免後)	2コマ
学習目標	高校卒業後の進路・将来について考え、働くことの意義を知り、自分がどんな職に就きたいか、そのためには何を学ばせ、何を身に付けさせるかを考える。就職・進学いずれにおいても自己分析や自己PRは必要となるため、授業を通して自分の強みが何なのかを考えさせる。また、履歴書の書き方の基礎を学び、実践に役立てられるようにする。						
学習方法	レポートを自宅等で学習する。また、面接指導や添削指導により理解を深める。						
評価方法	5段階評価。添削指導、試験、面接指導での評価、観点別評価の実施。						

添削課題	単元名および概要	
第1回	単元名	進路、就職
	概要	キャリア教育 職業教育 進学について

面接指導計画	
単元名	キャリアガイダンス
単元目標	高校卒業後の進路を決定する際に、進学を希望する場合でも就職を希望する場合でも、試験(面接・履歴書など)が必要となる。この授業を通してこれまでの振り返り、自分の強みを知り、自己分析をすることで自身の立ち位置を知る。また、高校在学中の早い時期から基礎を学び反復練習が重要であることを理解し、スキルアップ出来るようになる。進路決定直前に慌てることが無いようになる。

2026年度 通信教育実施計画

教科	総合的な探究の時間	科目	総合探究α	単位	1単位	面接指導実施 コマ数 (6割減免後)	2コマ
学習目標	沖縄の文化は日本本土と異なっているものも多くある。それらの文化が諸外国との交流の中で生まれたものであることを認識させ、沖縄県の歴史や地理的特徴を理解させる。また、学校所在地の本部町から気軽に訪問できる離島を紹介することで、沖縄に関する興味関心を深めていく。						
学習方法	レポートを自宅等で学習する。また、面接指導や添削指導により理解を深める。						
評価方法	5段階評価。添削指導、試験、面接指導での評価、観点別評価の実施。						

添削課題	単元名および概要	
第1回	単元名	沖縄の歴史・文化・自然
	概要	沖縄の歴史と自然の関わり 沖縄の文化 沖縄の自然

面接指導計画	
単元名	沖縄の文化と周辺離島
学習到達目標	沖縄の文化についての理解を深める。 沖縄本島北部の周辺離島に関して学び、沖縄県の歴史を知る。

2026年度 通信教育実施計画

教科	総合的な探究の時間	科目	総合探究β	単位	1単位	面接指導実施 コマ数 (6割減免後)	2コマ
学習目標	沖縄の埋葬方法を学ぶ前提として世界にはどのような埋葬方法があるのかを学ぶ。その上で洗骨について学習していく。また、本部町の特産品を説明し、本部町への興味関心を持たせる。						
学習方法	レポートを自宅等で学習する。また、面接指導や添削指導でより理解を深める。						
評価方法	5段階評価。添削指導、試験、面接指導での評価、観点別評価の実施。						

添削課題	単元名および概要	
第1回	単元名	本部町について
	概要	本部町のシンボル 本部町の特産品 本部町の自然 離島について

面接指導計画	
単元目標	沖縄の文化と本部町
学習到達目標	沖縄の文化についての理解を深める。 学校の所在地である本部町について特産品などを学ぶことで本部町への関心を持たせる。

2026年度 通信教育実施計画

教科	総合的な探究の時間	科目	総合探究γ	単位	1単位	面接指導実施 コマ数 (6割減免後)	2コマ
学習目標	世界遺産でもある『今帰仁城跡』を見学し、沖縄の歴史と文化、沖縄北部地域の歴史について学ぶ。						
学習方法	レポートを自宅等で学習する。また、面接指導や添削指導でより理解を深める。						
評価方法	5段階評価。添削指導、試験、面接指導での評価、観点別評価の実施。						

添削課題	単元名および概要	
第1回	単元名	沖縄の世界遺産
	概要	沖縄の世界遺産 世界遺産を構成するグスクについて 今帰仁城について グスクの特徴

面接指導計画	
単元名	世界遺産:今帰仁城について
学習到達目標	本校の所在地域である沖縄北部地区の歴史や世界遺産について学習し、沖縄や北部地区のことを理解できるようにする。

## 2026年度 通信教育実施計画

### 1. 特別活動の重点目標

特別活動の各活動及び学校行事を見通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団や社会の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主性、実践的な態度を育てるとともに、人間としての在り方、生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力を養う。また、社会への適応力を身につけ、生きる力を育む。

- (1) 活動において、人間・自然に深い愛情を持ち、共に生きるためのコミュニケーション能力や環境意識を身につける。
- (2) 活動において、規律ある生活態度と自己責任能力を身に付け、地域の活性化をはかる諸活動に自主的に参加する取り組みをすすめる。
- (3) 学校行事・全体行事において、豊かな感性と想像力を持って、たくましく生きる力を育成する。

### 2. 活動区分(ホームルーム活動・学校行事・その他)

活動区分	全体行事	集団活動
活動内容	(1) 儀式的行事学校生活に有意義な変化や折り目を付け、厳粛で清新な気分を味わい、新しい生活の展開への動機付けとなるようにすること。 (2) 文化的行事平素の学習活動の成果を発表し、自己の向上の意欲を一層高めたり、文化や芸術に親しんだりするようにすること。 (3) 健康安全・体育的行事心身の健全な発達や健康の保持増進、事件や事故、災害等から身を守る安全な行動や規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成、責任感や連帯感の涵養、体力の向上などに資するようにすること。	(1) 学校の生活づくり ① 学校における生活上の諸問題の解決 ② 学校における多様な集団の生活の向上 (2) 適応と成長及び健康安全 ① 青年期の悩みや課題とその解決 ② 自己及び他者の個性の理解と尊重 ③ 社会生活における役割の自覚と自己責任 ④ 男女相互の理解と協力 ⑤ ボランティア活動の意義の理解と参画 ⑥ 国際理解と国際交流 ⑦ 心身の健康と健全な生活態度や規律ある習慣の確立 ⑧ 生命の尊重と安全な生活態度や規律ある習慣の確立 (3) 学業と進路 ① 学ぶことと働くことの意義の理解 ② 主体的な学習態度の確立 ③ 教科・科目の適切な選択 ④ 進路適性の理解と進路情報の活用 ⑤ 望ましい勤労観・職業観の確立 ⑥ 主体的な進路の選択決定と将来設計

### (2) 個人活動

様々な事情や特性を持った生徒がいることを理解し、個々の状況に応じた指導内容を留意する。また、個人の性格、特性を把握し、適切な活動を選択できる機会を設ける。個々の成長や課題に目を向け、集団活動への参画や学校への登校につなげていける活動を構築する。

- ① 芸術・文化鑑賞
- ② 自己及び他者の個性の理解と尊重
- ③ 体験・観察・記録活動
- ④ 集団活動へ参加するための個別指導

### 3. 活動計画

実施月	テーマ	その他活動
5月	祭	ホームルーム、入校式、修了式 ※9月と2月は卒業式実施
6月	八洲フラワーカーニバル	
7月①	沖縄の海	
7月②		
8月①	伝統文化	
8月②		
9月	ヤシマンピック	
10月	国際文化	
11月①	秋満喫	
11月②	ハンドメイド	
12月①	球技	
12月②		
1月①	人生ゲーム	
1月②		
2月	アウトドア	
3月	SDGs	

### 4. 特別活動に充てる授業時数

それぞれの活動内容に対して適切な授業時数を充てるものとする。

### 5. 評価

評価に関しては、生徒のよい点や進歩の状況などを積極的に評価するとともに、指導の過程や成果を評価し、指導の改善を行い学習意欲の向上に生かすように、以下の通り評価の観点を定める。

- (1) よりよい生活を築くための知識・技能
- (2) 集団や社会の形成者としての思考・判断・表現
- (3) 主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度